平成24年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年１月27日

上 場 会 社 名　　情報技術開発株式会社　　上場取引所　大
コ ー ド 番 号　　9638　　URL　http://www.tdi.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役 社長 兼 ＣＯＯ　　（氏名）　三好　一郎
問合せ先責任者　（役職名）　執行役員　経営管理部長　　（氏名）　羽生　信一朗　(TEL)03-3372-4224
四半期報告書提出予定日　　平成24年２月10日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年３月期第３四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第３四半期	12,127	2.6	548	△20.4	604	△22.4	215	△45.4
23年３月期第３四半期	11,822	2.3	689	40.3	779	43.8	394	102.8

(注) 包括利益 24年３月期第３四半期　124百万円(△81.6%) 23年３月期第３四半期　674百万円(　－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年３月期第３四半期	25.63	25.58
23年３月期第３四半期	46.16	46.07

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第３四半期	12,073	8,655	71.7
23年３月期	13,143	8,792	66.9

(参考) 自己資本 24年３月期第３四半期　8,655百万円　23年３月期　8,792百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年３月期	－	10.00	－	11.00	21.00
24年３月期	－	9.00	－		
24年３月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	3.0	780	△20.1	860	△23.8	280	△42.1	33.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　—社（社名）　　、除外　　—社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期３Ｑ	9,008,560株	23年３月期	9,008,560株
②　期末自己株式数	24年３月期３Ｑ	690,503株	23年３月期	555,442株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期３Ｑ	8,393,070株	23年３月期３Ｑ	8,535,384株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に伴う、企業の生産活動や消費マインドの持ち直しにより、緩やかな回復の兆しが見られました。しかしながら、その後の米国経済の回復鈍化や欧州の財政不安による円高の進行や株価の低迷、また昨年10月にタイで発生した洪水被害の影響等により、先行きは予断を許さない状況で推移しております。

当情報サービス業界におきましては、平成23年12月15日発表の日銀短観の中で、平成23年度のソフトウェア投資計画額が、全産業で前年同期比8.7％増、製造業で前年同期比9.9％増と、回復傾向を示しております。国内経済全体の見通しが不透明な中におきましても、災害対策としてのデータセンターサービスやクラウドコンピューティングサービスへの関心の高まり、また、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴う関連ビジネスの市場拡大など、新たな分野における情報システム投資の回復が期待されております。

このような経営環境において、当社グループは、お客様へ最良のサービスをご提供し、ご満足を頂くという当社グループの原点に立ち帰るため、今期の基本方針に「原点回帰」を掲げ、スペシャリスト人材の育成による提案型ビジネスの強化、新規ソリューションビジネスの本格的な展開を推進いたしました。また、昨年11月には、経営コンサルティング会社として30年近い実績を持ち、企業の経営課題解決に定評のある、株式会社レイヤーズ・コンサルティング様との合弁会社「レイヤーズ・ＴＤＩソリューションズ株式会社」を設立するなど、お客様の経営課題の解決に向けたサービスの更なる強化に努めてまいりました。

その結果、大型案件の立ち上がりの遅れや、スポット案件の減少等の影響はあったものの、既存顧客からの受注拡大や、新規顧客の開拓により、売上高は前年同四半期と比較して微増となりました。一方、利益面におきましては、期初計画時に見込んでおりました新規ソリューションビジネス推進のための先行投資や、半導体関連事業の受注拡大に向けたテスタ導入等の設備投資に加え、一部の不採算案件対応や投資有価証券評価損、並びに平成23年12月２日付けで公布された法人税率引下げに関連する法改正に伴う繰延税金資産の取崩し等の影響により、前年同四半期と比較して減益となりました。

当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高121億27百万円（前年同四半期比2.6％増）、営業利益５億48百万円（前年同四半期比20.4％減）、経常利益６億４百万円（前年同四半期比22.4％減）、四半期純利益２億15百万円（前年同四半期比45.4％減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・ソフトウェア開発事業は、既存顧客に対する受注活動の深耕や、新規ソリューションビジネスの本格的展開、また、コンサルティング会社との協業による提案活動の強化により、受注は増加したものの、一部の不採算案件対応等により減益となりました。その結果、売上高は68億５百万円（前年同四半期比2.8％増）、セグメント利益（営業利益）は１億63百万円の損失（前年同四半期は22百万円の利益）となりました。

・情報処理サービス事業は、既存顧客からの受注規模の拡大に努め、また、官公庁等の新規顧客に対する提案活動に注力したものの、大型案件やスポット案件の減少が影響し、受注は微減となりました。一方、利益面におきましては、稼働率の改善など、生産性の向上に努めたことにより、前年同四半期と比較して増益となりました。その結果、売上高は31億12百万円（前年同四半期比0.2％減）、セグメント利益（営業利益）は５億13百万円（前年同四半期比9.6％増）となりました。

・エンベデッド・ユビキタス／半導体関連事業は、一部顧客の業績悪化に伴う受注案件の凍結や縮小が発生したものの、組み込みソフトウェア事業においては、新規顧客の開拓や積極的な提案活動により自動車関連の受注が増加し、また、半導体関連事業においても、主要顧客の技術革新に対応した提案活動により受注が増加しました。利益面におきましては、新たな技術サービス提供のための最新ツールや、受注拡大に向けた半導体テスタの導入による設備投資の影響により、前年同四半期並みの結果となりました。その結果、売上高は22億10百万円（前年同四半期比6.3％増）、セグメント利益（営業利益）は１億98百万円（前年同四半期比0.1％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は120億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億70百万円減少いたしました。

流動資産は72億82百万円となり、８億84百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が６億42百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は47億90百万円となり、１億85百万円減少いたしました。

有形固定資産は15億48百万円となり14百万円増加し、無形固定資産は３億20百万円となり42百万円増加いたしました。

また、投資その他の資産は投資有価証券の評価損の計上等により、２億42百万円減少し、29億22百万円となりました。

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は34億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ９億32百万円減少いたしました。

流動負債は18億57百万円となり、10億72百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が１億91百万円、未払法人税等が５億４百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は15億60百万円となり、１億40百万円増加いたしました。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は86億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億37百万円減少となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の66.9％から71.7％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、売上面においては概ね予想通り推移しているものの、法人税率引下げに関連する法律に伴う繰延税金資産の取崩しの影響により、当期純利益において予想を大きく下回る見通しとなったため、平成23年４月公表の通期連結業績予想を修正いたしました。なお、営業利益、経常利益につきましても、現時点で入手可能な情報に基づき、予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,779,210	3,369,745
受取手形及び売掛金	3,064,084	2,421,588
有価証券	358,481	458,489
商品及び製品	8,330	2,224
仕掛品	182,550	526,754
原材料及び貯蔵品	2,736	3,696
その他	790,830	515,432
貸倒引当金	△19,073	△15,522
流動資産合計	8,167,151	7,282,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,726,786	1,727,461
減価償却累計額	△902,828	△952,338
建物及び構築物（純額）	823,957	775,123
工具、器具及び備品	709,665	823,565
減価償却累計額	△495,885	△550,259
工具、器具及び備品（純額）	213,780	273,305
土地	490,405	490,405
建設仮勘定	6,082	9,579
有形固定資産合計	1,534,226	1,548,415
無形固定資産		
のれん	28,909	18,502
その他	248,625	301,588
無形固定資産合計	277,534	320,090
投資その他の資産		
投資有価証券	1,947,367	1,614,088
その他	1,216,958	1,308,212
投資その他の資産合計	3,164,325	2,922,300
固定資産合計	4,976,086	4,790,806
資産合計	13,143,238	12,073,215

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	832,173	640,270
未払法人税等	601,039	96,571
賞与引当金	13,713	317,321
その他	1,483,017	803,283
流動負債合計	2,929,943	1,857,446
固定負債		
退職給付引当金	1,411,794	1,555,099
長期未払金	2,720	1,610
その他	6,070	4,012
固定負債合計	1,420,585	1,560,721
負債合計	4,350,528	3,418,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,881,867	1,881,867
資本剰余金	1,777,043	1,777,043
利益剰余金	5,997,387	6,044,648
自己株式	△416,316	△510,320
株主資本合計	9,239,982	9,193,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228,545	137,625
土地再評価差額金	△675,817	△675,817
その他の包括利益累計額合計	△447,272	△538,192
純資産合計	8,792,709	8,655,046
負債純資産合計	13,143,238	12,073,215

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
売上高	11,822,005	12,127,994
売上原価	9,287,960	9,625,249
売上総利益	2,534,044	2,502,744
販売費及び一般管理費	1,844,199	1,953,962
営業利益	689,845	548,782
営業外収益		
受取利息	5,693	5,649
受取配当金	25,402	19,389
不動産賃貸料	8,436	7,624
生命保険配当金	13,501	250
保険事務手数料	5,510	5,874
受取保険金	－	14,160
保険解約益	45,550	18,729
その他	11,691	10,515
営業外収益合計	115,786	82,193
営業外費用		
不動産賃貸費用	19,541	18,727
持分法による投資損失	3,839	2,659
その他	3,240	5,117
営業外費用合計	26,621	26,504
経常利益	779,010	604,470
特別利益		
投資有価証券売却益	35,307	－
貸倒引当金戻入額	656	－
特別利益合計	35,964	－
特別損失		
固定資産除売却損	7,865	57
投資有価証券評価損	61,710	71,795
事務所移転費用	－	15,790
ゴルフ会員権評価損	－	6,935
特別損失合計	69,575	94,579
税金等調整前四半期純利益	745,399	509,891
法人税、住民税及び事業税	311,466	242,061
法人税等調整額	40,966	52,720
法人税等合計	352,433	294,782
少数株主損益調整前四半期純利益	392,965	215,108
少数株主損失（△）	△1,041	－
四半期純利益	394,007	215,108

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	392,965	215,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281,223	△90,920
その他の包括利益合計	281,223	△90,920
四半期包括利益	674,188	124,187
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	675,230	124,187
少数株主に係る四半期包括利益	△1,041	－

（３）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

該当事項はありません。